

株式会社 伊藤建築設計事務所

エコ事業所取組レポート

2006年4月

.....はじめに.....

私達は建築の設計・監理を主たる業務として、そこで生み出す建築の品質を確保するために、ISO9001を取得して品質マネジメントシステムの中で業務を進めております。一方、地球環境保全への世界的関心の高まりの中で、私達の取り扱う建築物の設計においても、環境に配慮した設計がその品質の中で大きなウェートをしめるようになってきています。環境配慮設計を確実に業務に取り込み、日常のオフィスワークでも環境配慮の取組を充実させるために、私達は現在ISO14001に認証取得を目指しています。その前段として、この度、本社・名古屋事務所は名古屋市のエコ事業所認定制度に取組み、認定取得しました。

株式会社 伊藤建築設計事務所
代表取締役社長 森口 雅文

.....環境に関する経営理念・方針.....

私達は、私達の業務とその対象である建築・都市が地球環境に多大な影響を及ぼすことを認識し、設計監理を中心とした業務の全域において、幅広い環境保全活動に積極的に取組み、地球環境の維持及び改善を図ります。(エコ事業所認定申請書より抜粋)

..... 事業所の概要

事業所名 株式会社 伊藤建築設計事務所

所在地 名古屋市中区丸の内一丁目 15 番 15 号 (桜通ビル)

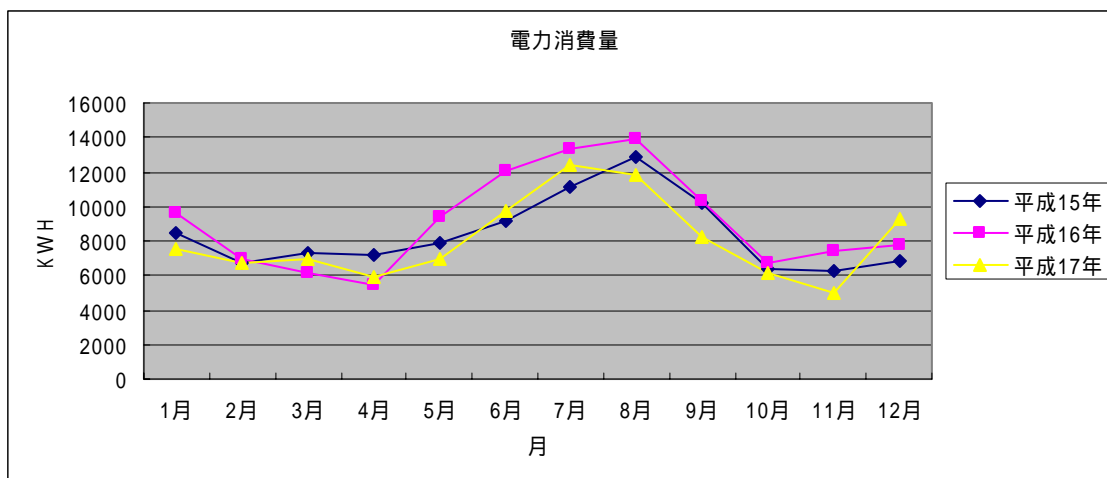
- 事業の内容
1. 建築・土木・造園の設計監理
 2. 都市計画・地域計画
 3. 調査・コンサルタント業務
 4. 建築物に関する検査・診断等の業務
 5. 上記に付随する一切の業務

職員数 70 名

..... 環境に配慮した取組の状況

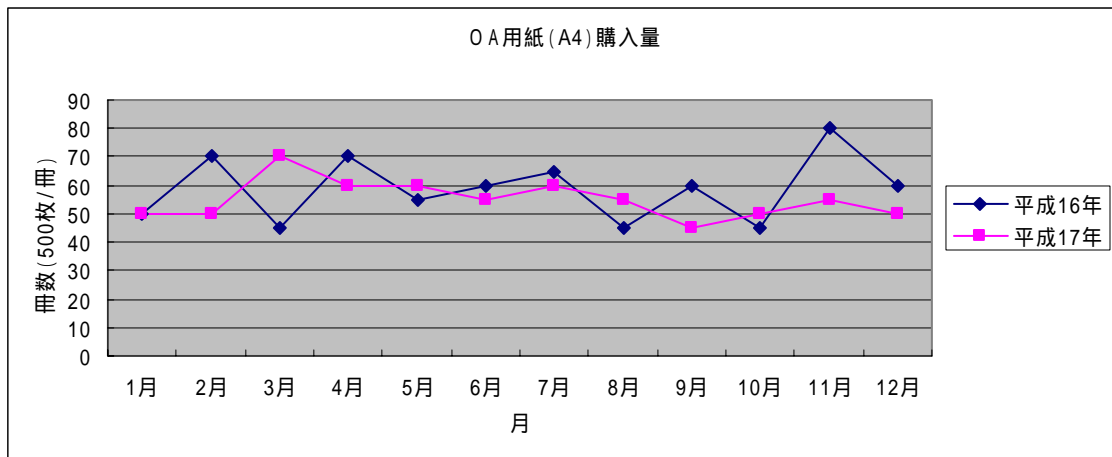
(1). 省エネルギーを推進する

空調設定温度を夏季(冷房)28、冬季(暖房)20とし、空調期間も冷房は6月15日から9月30日、暖房は12月1日から3月31日としています。空調の運転はタイマー制御による自動運転とし、不要な空調機は停止することを職員に周知徹底しています。さらに、担当者が毎日空調設定温度を確認、記録して適切な運用を進めています。また、不要箇所の照明器具の消灯の励行と合わせて省エネルギーを推進し、電力消費は平成17年9月~12月の合計は平成16年の同期に比べて約88%、空調用都市ガスは同様に42%となりました。平成17年12月のエネルギー使用量が増えています。異常な寒波の到来によるものと推定されます。



(2). O A用紙の有効利用を通して紙ごみの減量を図る

O A用紙を多く使用する当社では、エコ事業所認定取得のため、2005（平成 17）年 9 月より、O A用紙をできる限り両面利用するためのルールを作り運用してきました。まず、パソコンからの打出し用のプリンターを両面プリント用と片面未使用紙用に区分し、職員が確実にプリンターを選択使用するように周知しました。また、片面未使用の用紙はサイズ毎に回収するボックスを設置しO A用紙有効利用を図りました。平成 17 年は試行開始から 4 ヶ月間の運用でしたが、その期間内で前年同期と比べて約 20%、年間トータルで平成 17 年は 16 年に比べて約 5%の用紙購入量が減りました。用紙消費量は業務量とも関係すると思われませんが、平成 17 年の業務受注量は平成 16 年より増加していることを勘案すると、O A用紙の使用が削減されていると言えます。但し、用紙の裏面再利用に関しては情報の漏洩という新たな問題も発生して来ています。十分注意した運用が必要です。



(3). ペットボトル飲料の使用を取りやめる

当社では従来、職員の社内飲料用としてペットボトル飲料を利用してきました。この度エコ事業所の認定取得にあたり、このペットボトル飲料の全面的な取り止めを実施することとし、代わりに給茶機を設置しました。合わせて使用しておりました紙コップも全面的に使用を取りやめ、湯飲み茶碗を使用することとしました。これらによりペットボトル、紙コップの排出をなくすことができました。給茶機や食器洗い機を導入して電気使用量が増えましたが、冷蔵庫、テーサーバーを取りやめてトータルとして、電力量は増えていません。また、職員が個人的に購入するペットボトルも各自で持ち帰る等、社内で廃棄をしないルールも取り決めて運用しています。

(4).ごみの分別の徹底を図る

社内各所のごみ箱を「事業系ごみ・資源の分け方」(名古屋市環境局資源化推進室)を参考に、OA用紙用、雑古紙用、可燃ゴミ用、不燃ゴミ用の4種類に分けごみの区分表をごみ箱にも掲示して、ごみの分別の徹底を図っています。また、古新聞、雑誌、段ボール、空き缶、空きびんもそれぞれ専用のごみ箱を社内所定の位置に設置して、分別廃棄を確実にしています。これによりごみと資源を明確に分け、資源は確実にリサイクルにまわすことが出来ます。

(5).余剰事務用品のリユースを図る

当社は仕事柄、各種の事務用品を使用します。各自の机周りに知らず知らずのうちに事務用品が溜まってしまいます。そこで、毎週1回職場環境整備デーを設定し、身の回りの整理整頓をすることとしています。その際、余剰の事務用品を決められた回収ボックスに戻すこととしています。必要な事務用品は回収ボックスの中のものから優先的に使用するよう職員に周知しています。

.....お問合せ先.....

株式会社 伊藤建築設計事務所

エコ事業所担当 鈴木慶智 富田昌志

名古屋市中区丸の内一丁目15番15号(桜通ビル)

TEL 052-222-8611

FAX 052-222-1971

<http://www.ito-aei.co.jp>